



施設の概要
 所在地：神奈川県川崎市多摩区枳形7丁目1番5号
 建築面積：2,808.42m²
 延床面積：4,993.80m²
 構造・規模：RC造、一部S造、地下1階地上1階
 施主：川崎市
 設計：建築・設備 / 川崎市まちづくり局、(株)Y米設計
 展示 / (株)現代芸術研究所
 母の塔 / (株)現代芸術研究所
 施工：建築 / 戸田・北島共同企業体
 電気 / 京浜・国際共同企業体
 展示 / (株)乃村工藝社
 母の塔 / 戸田・北島共同企業体
 工期：平成8年11月～11年7月

各展示ゾーンに特長的な演出と、展示品に最適な照度で再現している展示室の照明

Lighting in the exhibition hall uses particular lighting to reproduce the scene of each exhibit with optimum illumination

従来の美術館展示の概念を突き破った岡本太郎の作品を肌で感じる「体感型展示空間」

"A sensual exhibition hall" that allows you to really feel the works of Taro Okamoto in a manner that breaks away from regular exhibits in art galleries.

川崎市岡本太郎美術館は、川崎市ゆかりの芸術家、岡本太郎氏から寄贈された美術品や資料等を主に展示している施設です。この施設は「自然と融合した美術館」をコンセプトとして、展示室をはじめとするほとんどの施設は地下に設けられ、地上は母の塔を中心とする公園スペースや、滝、池など美術機能だけでなく、自然を十分に採り入れた市民の憩いの場となる設計が施されています。

企画展示室は岡本太郎に関わる展示だけでなく、新人作家の紹介や現代美術を紹介する企画など、様々な展示に対応できるように可動壁によっていくつものパターンの展示空間を可能としています。

企画展示室の照明は、ベース照明にはメッシュ仕上げの天井(天井高7m)にコンパクト形蛍光灯ランプダウンライト(UVカットフィルター付)を使用し、平均照度は100lxに抑えています。展示品に対しての照明は可動壁の位置や対象作品に合わせて任意に設置でき照射方向が変えられるようにライティンググレーを格子状に配置し、アーム付きのスポットライトと合わせて使用しています。光源には展示作品の損傷や変退色を考慮すると共に自然な色合いを再現するため、ハロゲンランプを採用しています。器具は、建築空間と一体化させて目立たないようにするため天井の色に近い黒色としています。

また、間仕切りされたそれぞれの展示ゾーンに特長的な演出を可能にすると同時に、展示品に最も適した照度(最高照度150lx)が作り出せるよう演出調光システム「ムーディム」が採用されています。

高さ30mある「母の塔」は、豊穣で、生命感あふれる姿、有機的ななめらかなフォルムが、美術館をとりまく豊かな緑と自然に調和しています。この「母の塔」のライトアップとして、GL面に防水形の照明ボックスを埋設し、ハロゲンランプ投光器(足元周囲に14台を設置)により上向き照射で、内からの生命の輝きを演出しています。

照明コンセプト

Lighting design concept

移動壁によるゾーンごとに多彩な照明演出と、作品ごとに様々な照明制御が可能なシステムを展開
 外構照明は自然と融合した形の創出



エントランスホール
 The Entrance Hall
 石段を上がり洞窟に入るイメージで設計され、床の青いタイルは緑地に湧き上がる水をイメージ。天井ドームのトップライトによる自然採光と、ハロゲンランプ埋込器具による人工光の補助光で広がり感をつくり出している



常設展示室
 The Permanent Exhibition
 照明効果と映像の演出が行われている彫刻ゾーン



情報コーナー
 Information Corner
 岡本太郎を紹介する映像や図書などを利用できる情報空間。照明はハロゲンランプの埋込器具とスポットライトを設置



景観照明
 Lighting vista
 低ボール灯を採用し、周辺環境との調和と、容易なランプ交換を可能にすることを配慮



企画展示室(1)
 Visiting Exhibition Hall (1)
 中央に外光を採り入れるための光庭が配置され、836m²の空間は可動壁によって、いくつものパターンの展示空間を作ることができる



企画展示室(2)
 Visiting Exhibition Hall (2)
 ベース照明にはコンパクト形蛍光灯ランプダウンライト(UVカットフィルター付)を設置し、局部照明にはライティンググレーとハロゲンランプ用スポットライト器具を使用し、展示品を自然に再現



演出調光システム
 Lighting control system
 各展示ゾーンの企画に合った演出照明と、展示品に最適な照度を確保するために調光卓を採用。



企画展示室(3)
 Visiting Exhibition Hall (3)
 可動壁によって作られた展示ゾーン、壁の位置や対象作品に合わせて任意に設置・移動できるライティンググレーと組合わせたスポットライトにより、グレアを与えないで適正に照射している



展示テーマコーナー
 Theme Exhibit Corner
 宙吊りにされた情報ボックスが展示。透過ガラスで自然光を採り入れているため、ベース照明とスポットライトは季節・時刻に合った調光制御システムが生かされている

主な照明設備一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
企画展示室	蛍光灯ダウンライト	FUG-2200NW(特注)	110	18Wユーライン2
	スポットライト	IHB-2060RK(特注)	160	85Wハロゲンランプ
		IHB-1021RN(特注)	20	100Wハロゲンランプ
エントランスホール	スポットライト	IHB-2210R-20(特注)	20	215Wハロゲンランプ
		FLD-1862(V)EL	32	18Wユーライン2
広場	ガーデンライト	HGP-0540(K)K	69	13W電球形蛍光灯
	フットライト	FUF-906N(R)	21	9Wユーライン
母の塔ライトアップ	投光器	GT-1500GH(S)	14	130Wハロゲンランプ
演出調光システム「ムーディム」		(特注)	2	



母の塔
 Monument of Motherhood
 ハロゲンランプ投光器によりライトアップし、内からの生命の輝きを演出